

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 76

令和6年(2024)
11月14日

おもな内容

議案審議	2～3
決算特別委員会	4～7
議決結果	7
常任委員会報告	8～9
議会ってQ&A	10
一般質問	11～17
みんなの広場	18

トピックス 牧場公園スキー場の債務負担行為で議論沸騰
決算特別委員会 10会計を認定



景色を楽しみながら
ゆっくりマラソン

(令和6年11月3日 上山・霧ヶ滝もみじマラソン)

あらまし

第134回定例会を9月4日から9月30日までの27日間で開催しました。町長提出案件の報告2件、条例改正3件、事件案1件、専決補正予算案1件、補正予算案8件、人事案1件、決算認定10件、議員発議1件を慎重審議しました。

特に令和5年度一般会計他9会計の決算審査においては、議長を除く15名による決算特別委員会を設け、4日間にわたり審査しました。(4～7ページ参照)

又、一般会計補正予算については、債務負担行為の設定、地域経済循環創造事業、消防団員退職報奨金などについて質疑や討論を行った結果、賛成多数で可決しました。議員発議も採択しました。

補正予算、議員発議可決。 債務負担行為の設定に異議アリ!

令和6年度一般会計補正 予算第2号

説明 令和5年度決算確定に伴う繰越金、普通交付税の確定により補正予算で歳入歳出それぞれ2億4067万2千円増額し、予算総額137億7675万2千円とするもの。債務負担行為の変更も行われた。

Q 消防団員退職報奨金の増額はなぜか。

A 予定していた退職者数の増加によるもの。33名予定が40名であった。

Q 消防団員への活動費の支給方法が変わったため退職者が増えたのではないのか。

A 処遇を改善し、消防団員が増えるよう努力している。

Q 起業支援制度の今年度の申請は、何件を想定しているのか。

いるのか。

A 現在で8件、追加で5件を予定している。当初の計画以上に利用が見込まれているためである。

地域経済循環創造事業 (補正予算関連)

説明 民間事業者が、旧奥八田小学校の校舎の一部を改修し、シカの食肉加工所を開設し、シカ肉の製造・販売を行い、獣害被害の解消と雇用の促進、地域の特産品を生み出す。総事業費2680万円の半額は金融機関の融資、残り半分が補助金で国が10005万円、町が335万円負担するもの。

Q 補助要綱はできているか。校舎のどこを使うか。又、町の維持管理費は高くなるのか。

A 従前より要綱はある。校舎の谷側の1階である。事業者が入ることでの維持管理費が高くなることはない。

Q 施設の排水等に関して地域の住民と協議したのか。

A 排水はすべて下水道に接続する。区長協議会で説明は行い、要望のある地区でも説明会を開いている。今後にも必要に応じて、事業者が説明を行う。

Q 1日何頭加工できるのか。

A だいたい2、3頭の予定である。

要介護認定調査のDX化 (補正予算関連)

説明 要介護認定の申請から認定結果の通知までの期間短縮のため、専用アプリ搭載のタブレットの導入

と連動した介護システムを改修し、調査作業のデジタル化を図るもの。事業総額753万3千円、半額国費補助。

Q 介護認定をできるだけ早くするように。

A 国の基準は30日、福祉課と連携してできるだけ早く処理するように努める。

Q 他の業務でも同様のデジタル化はできないか。他自治体の情報も取得すべき。

A それぞれの市町での取り組みを見ながら積極的に進めていきたい。

債務負担行為 (補正予算関連)

説明 但馬牧場公園スキー場リフト改修の債務負担行為について、リフト動力設備を覆うドームの老朽化が著しく、動力設備の修繕と合わせて改修が必要なのが判明し、追加するもの。元々の工事の資材高騰と合わせて、3870万円を増額。財源は過疎債。



改修予定のスキー場リフト

Q 所管課はどこか。

A リフト関連改修工事は農林水産課、運営管理は商工観光課である。

Q 一者随意契約とのことだが、ドーム工事は別の業者でもできるのではないか。

A ドームは動力設備と一体のもので、同一業者で行う。

Q 債務負担行為と繰越明許で3年間にわたる工事で、会計年度独立の原則を崩しているのではないか。

A 部品等の製作が令和7

年12月までかかる。冬季はかき入れ時なので、工事の着工は令和8年度に繰り越す。

Q このような進め方はよくないのではないか。何を基本に事業をしているのか。

A 財源の確保のため、来年度の過疎債を使いたい。違法ではない。

Q 違法でなければいいのか。社会は信頼で成り立っている。3年計画で推進すべき。

A 債務負担行為を令和7年度から令和8年度とすることができた。総務課と協議して、今後の財政運営を考えると妥当であると判断した。

Q ドームの改修の他は、今後の大改修はないのか。

A 12か年の修繕計画で、まとまった大改修はこの事業である。その他LED照明やムービングベルトの設置があるが当分保留する。賛成多数で可決

用語説明

会計年度独立の原則

「各会計年度における歳出は、その年度の歳入をもって、これに充てなければならぬ」という地方自治法の規定。

債務負担行為

単年度で終了しない事業や事務の負担を、複数年度にわたって支払い義務をあらかじめ設定する制度。

繰越明許費

予算の執行が年度内に間に合わない場合に、翌年度に限り、計画を継続できるようにする制度。

議員発議

新温泉町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

説明 法令改正により、個人事業主の議員は、300万円以下の町の請負が可能になった。その状況を議長に報告することを規定した条例。

全員賛成で可決

令和6年度 9月補正予算（一般会計 特別会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名			当初予算	補正額	補正後予算額
一 般 会 計			13,255,000	240,672	13,776,752
特 別 会 計	国民健康保険事業	事 業 勘 定	1,785,200	7,795	1,796,306
		歯科診療施設勘定	58,400	128	58,715
	後 期 高 齢 者 医 療		258,830	11,125	269,955
	介 護 保 険 事 業		1,935,368	39,517	1,973,453
	浜 坂 地 区 残 土 処 分 場 事 業		847,132	9,603	856,809
	七 釜 温 泉 配 湯 事 業		7,531	3,454	10,985
公営企業会計 （支出）	水 道 事 業		743,035	12,211	755,780
	公 立 浜 坂 病 院 事 業		1,920,993	1,349	1,925,237

決算特別委員会

-政策の効果をチェック!-

決算認定は、決算から施策の成果を点検し、今後に反映すべく議論するものです。議長を除く15名で決算特別委員会を組織し、慣例で副議長が委員長となり、一般会計、特別会計、企業会計等10会計を審査しました。多くの議論がありましたが、主なものを抜粋してご紹介します。

一般会計

総務費

Q 総務管理費の一般職員が予算時の32名から34名になっているがなぜか。

A 人事異動で休職中の2名の所属増である。

Q 職員研修の内容はどのようなものだったのか。

A 職員の独自研修で、協議して決めている。令和5年度は、コンプライアンス・チームビルディング・フローワーシップ研修を行った。

Q 地方バス等公共交通維持確保対策とは何のためのものか。国県の助成はあるのか。

A 湯村八鹿線を維持するためのものである。国の特別交付税措置が80%ある。

Q 集落支援員の勤務はどのようなものか。

A 会計年度職員である。日誌をつけ、月1回は会合を開いている。拠点はそれぞれの公民館等である。

結婚活動推進事業

Q 結婚活動推進委員会の役割は何か。

A 地元の事情をよく知る委員で構成している。婚活イベント等へも様々なアイデアをもらっている。

Q 婚活イベントは業者任せになっていないか。

A 行政からもリクエストしている。イベントをやりながら、1回ずつ反省し、見直しをしている。

Q 以前イベントで3組のカップルが成立したが、その後の報告はあるか。

A イベント後3か月は経過報告を求めるが、その後はプライベートの部分になるので求めている。

Q 町の委託事業の婚活イベントは一度途切れて、また復活させた事業である。再開にあたり、気をつけていることはあるか。

A 事業者任せにせず、行政がしっかりと、意見を言い、主体性を持つことだ。

JR利用促進

Q 町民ふれあいの旅について、町民20数名の参加者に町から19万円の予算と5



令和6年度の婚活事業チラシ

人の人件費等が出ている。継続する意味があるのか。

A 参加者からも一定の評価を得ている。行き先、実施時期などを工夫したら、参加者も増える可能性もある。ただ、今すぐというわけではないが、継続について今後の判断は必要である。

Q 特急はまかせ利用助成金事業は、利用促進につながっているのか。

A 利用された町民からは喜ばれている。浜坂駅が到着駅ではない便があるという実情を把握してもらえた点でも意味がある。

Q 鉄道往復利用支援事業のJR側の評価はどうか。ノバルティグッツは毎年度、作っているのか。

A 一定の評価を得ている。毎年、作っている。

Q 駅周辺活性化モデル事業は、浜坂高校が選ばれているが、初めから、浜坂高校ありきだったのか。

A 県との共同事業であり、審査会を設けている。評価

が高く、総合的に判断したものである。

民生費

Q 老人クラブの数が減っている。原因と対策は何か。

A 活動への補助金申請や報告等が負担となっているため、事務的な手続きの簡素化を検討している。

Q 町内の児童が利用している町外の放課後等デイサービスの補助金は制度上定められた補助金か。金額はどのようにして決めるのか。

A 香美町と新温泉町とで利用者数によって、補助金額が決まる。指定事業所として開設までの間、補助を行う。

Q 病児・病後児保育の研究費用は何名分か。

A 看護師1名分である。本来2名必要だが、医院併設のため特例により1名居れば運営可能である。

ユートピア浜坂

Q 年間3000万円の収

支赤字である。入館者が前年比1万人増えているが、町外町内どちらが増えているのか。

A どちらも増加傾向にある。

Q 利用料見直し（令和4年3月）以後で、2階の研修室等の利用状況の変化はあるか。

A 令和5年度は、全体で113件から139件に増えているが、見直しにより有料となった機能回復室については減っている。

農林水産業費

Q 但馬牛農業遺産推進協議会の100万円は、世界農業遺産が決定した後でも必要になるのか。

A ログマーク製作やシンポジウムの開催など、今後のPRに向けて必要予算である。

商工費

Q 予備費で補填した130万円は残業代との事だが、特別な事業でもあつ

たのか。商工観光課は新規事業に取り組む案件が多く、人員は足りているのか。

A 特に特別な案件は無く、継続的な蓄積で増加した。人員的には少しでも増員いただけるのであればありがたい。

Q 浜坂ふるさと夏祭り火大会への補助金が前年比40万円増の190万円になっている要因は何か。

A 昨年トイレが足らなかったため、仮設トイレを増加した。

Q ジオパーク事業推進費（ジオパーク館運営費等）として毎年2300万円の歳出があるが、県や国からの予算補助はあるか。

A 県や国からの支援は無く、全て町の一般財源でまかなっている。

Q 麒麟のまちDMOの負担金が201万円あり、年々増加しているが本町にメリットはあるか。

A 麒麟のまち圏域1市6町で負担している会社で、負担金の8割は鳥取市、残

りの2割を6町で案分している。インバウンド等の観光施策の連携で大変有利に活用できている。

Q 県民サンビーチのWiFi整備の経過は。

A 完了している。予算では設計費を組んでいたが、設計を頼まず整備することができた。

Q 薬師湯にあるバイナリー発電施設の定期点検料約100万円とは何か。

A 動作確認をするため年に1度、点検する。補助金の関係で平成26年の設置から15年間の維持管理が必要である。



非常時のみ稼働するバイナリー発電施設

牧場公園ムービングベルト

Q 設計監理委託は、なぜ一者随意契約か。

A 利用する高圧電源はリフト機材との連携が必須のため、委託できる会社はリフト設計施工会社の1社のみである。

Q 今後の計画はどのようなか。

A 設計の結果、事業費4000万円を見込んでいる。費用が膨らんでいるので、実施の是非を再度検討している。

土木費

Q 町営住宅の管理人報酬金が減ったのはなぜか。

A 4棟のうち2棟に管理人がいなかったためである。管理人を探している状況だ。

Q 健康公園の利用人数が4万7000人で前年比8800人増えている要因は。

A 主に地元利用の回復により、ドームの利用が7000人増えたため。

Q 温泉橋の工事は、補助

金関係の繰越明許費で進められていたものである。令和6年度に事業が継続されているが、令和5年度の事業の処理はどのようになされたか。

A 繰越明許費の事業ではなく、令和5年度の新規事業とし、令和6年度に継続事業として行っている。

Q 消火栓の保守点検はどのように行っているか。全体数のなかですべての維持管理はできるのか。

A 令和5年度から、温泉地域、浜坂地域各30か所合わせて60か所点検することになった。地域の要望を聞きながら点検場所を決めている。

浜坂駅前周辺整備

Q 浜坂駅のトイレの改修は、いつになるのか。

A 今年度中に概要ができる予定。駅前の道路工事に伴い、令和8年度以降に整備の見込みである。

Q 駅前の開発の進捗が遅れているがどうか。

A 庁舎内で検討している。

教育費

Q 学校図書館司書の事業は順調か。

A 照来小と夢が丘中に週1回勤務で配置している。来年度以降も継続したい。

Q 特別支援教育に係る研修会や巡回指導は何をしているものか。

A 現在、支援を要する児童が140人まで増加している。特定教員だけでなく教職員全員への研修を行っている。又、出石特別支援学校の教諭や聴覚、視覚の相談も専門家に相談し、指導してもらっている。

Q トライやる・ウィーク事業で、事業所からの受け入れ拒否はあるか。又、新規開拓はしているか。

A 断られるケースもある。新規開拓は毎年している。

社会教育

Q 麒麟獅子マラソン大会の補助金増額理由は何か。参加費の値上げはしないか。

A 物価高騰等による各種費用増大が理由。令和6年度から一部の参加費を上げている。

Q 文化財センターの利用状況はどうなっているか。

A 利用の当初目標は年900人だったが、815人とわずかに届かなかった。令和6年9月からは平日5日間の開館が可能となった。又、地域おこし協力隊の協力を得て文化財に関するイベントも開催可能。

歳入

Q 財政調整基金の繰入金金が当初予算の6億8千万円から4億2千万円に減額されているのはなぜか。

A 歳入では町民税が約9200万円増、特別交付税が1億2千700万円の増、被災市町災害対策交付金の交付があり、歳出では除雪委託料で約5500万円の不用額があったため。

Q 入湯税2900万円の内訳は。

A 湯村温泉約2500万

円、浜坂温泉約300万円、七釜温泉約95万円。

Q ふるさとづくり基金繰入金について、専属の部署を設けたのになぜ増えないのか。

A 大きく伸ばしている町は、町外産品を町内で加工して、ふるさと納税お礼品用に商品を作っている。本町は基本的に町内産品で進めたい。

総括

Q 予備費を執行する際の基本的考え方は。

A 予期しがたい突発的なことがおこり、緊急に対応する必要がある、予算流用できないものに予備費を充当するものである。

Q 繰越明許の基本的な考え方は。

A 年度末に成立した国の補助事業でもともと繰越を基本としたものと、町の当初から予定した事業で、精査した結果年度内にできないものを繰り越す。

Q 道の駅駐車場の土地購

入は、契約なしで繰り越されている。繰越予算を決定して繰り越すべきではないか。

A 個々の事情があり、ケースバイケースで対応している。

Q 一者随意契約の統一的指針はあるのか。

A 入札が基本で随意契約は特例。ガイドラインに基づいて点検しながら契約している。

Q 事業が途中で延期になったり、中止になったときの考え方は。

A 年度内であるべくとりかえしていくよう協議していく。

Q 全体像がない中で実施するから延期等がおこるのではないか。

A 熟度の高い計画をするのが肝要。全体像のチェックに努める。

Q 例外はよくない。予算・事業執行の大原則にもとづいて事業推進を図るべき。

A 100%実行できるようにする。

Q 企業版ふるさと納税と財源の確保にメリットがあるクラウドファンディング型ふるさと納税の推進を図るべき。

A 企業版ふるさと納税はしっかりと伸ばしていきたい。クラウドファンディング型は知識を深めていきたい。

一般会計

反対討論 河越 忠志 議員

若者を近隣市町に流出させてしまう傾向は、歴然としている。消滅する町と指摘されても、住宅施策、宅地施策などの対策もなく、専属担当を配置した『ふるさと納税』の取組みでは、香美町の四分の一程度にとどまり、町長自ら、その原因を地元産品に責任転嫁するような不信を招く言動もあった。危機的状況にある本町において、「大きな瑕疵がなければ」という理由で「認定する」では済まされない。

賛成多数で可決

介護保険事業特別会計

Q 従前から問題となっていた介護認定の審査の期間が長いことに対する改善はされているのか。

A 国の基準である30日に対して、本町は平均52日かかっている。事務の改善等を行っているが、新規の調査員を配置していることもあって、なかなか認定の期間短縮につながっていない。

Q 特別養護老人ホームやグループホームなどの待機状況はどうか、足りているのか。また、町内に老人ホーム等も必要ではないか。

A 以前に比べれば、待機状況は改善されており、充足していると考えている。町内に、特別養護老人ホーム以外にもグループホームなど軽度の方が利用できる施設があるのが理想であるが、老人ホームを建設するなどの話はない。

下水道事業会計

Q 下水道の配管維持はどうなっているのか。

A 本管は、塩化ビニールで施工されており、耐用年数は、40～50年となっている。あと25年は大丈夫である。

Q 個別の合併処理槽の更新時における補助金の制度はないのか。

A ない。

Q 町の下水道処理対象外の個人が設置した合併処理槽の補助金制度を設けるべきではないか。

A 現行では、そういう制度はない。

Q 現在の下水道料金体系の話の中で、旧時代の負債が料金の根拠となっていると説明されているが、この会計決算書の中のどこに記載されているのか。

A 記載はない。

Q 旧町単位での使用料の把握は行っているのか。

A 行っていない。建設時の補助メニューでの区分けだけである。

令和6年 第134回新温泉町議会定例会の議決結果

今定例会では、**25 議案中 23 議案を全員賛成で可決**しました。
賛否が分かれた議案等は以下の表のとおりです。

議 案 名	議 員 名																賛 成	反 対	結 果
	1 中村 茂	2 西村 龍平	3 澤田 俊之	4 米田 雅代	5 岡坂 遼太	6 森田 善幸	7 浜田 直子	8 河越 忠志	9 竹内 敬一郎	10 重本 静男	11 岩本 修作	12 宮本 泰男	13 中井 勝	14 中井 次郎	15 小林 俊之	16 池田 宜広			
令和6年度新温泉町一般会計補正予算（第2号）について	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	-	11	4	可決
令和5年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	-	12	2	可決

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席を示しています。議長は採決に加わりませんので、「-」で表示しています。賛成と反対が同数の場合は、議長が決めます。

議案一覧は町のホームページに掲載しております。



総務産建常任委員会

総務課

Q 人件費等の経常経費が占める経常収支比率が徐々に上がり、90%となった。85%を目標にすべきではないか。

A 収入の増加がない中で、人件費や物価高騰で支出が上っていて、かつ公債費（借金の返済）がピークにきている。令和7年以降の財政運営方針の見直しで十分検討していく。

用語説明

経常収支比率

自治体の財政の健全度を示す指標で、収入に対する固定的支出（人件費、扶助費、公債費など）の割合。数値が高いほど自由に使える財源が少なくなる。一般的に80%程度が健全とされている。

商工観光課

Q 世界の但馬牛まつりについて、町外へのPRはどうしているか。KPI（目標数値）の設定はしているか。

A 香美町、岩美町へ新聞折込を行った。臨時駐車場の台数に限界があり、その点をふまえて、KPIを設定する。



悪天候で来場が少なかった牛まつり

道の駅駐車場整備

Q 道の駅の排水路は本来農業用水路である。新しい駐車場用地の雨水はどのように対応するのか。周囲の生活基盤に不安を与える行政はいけない。周辺の住民と協議をしているか。

A 道の駅の施設整備は県



拡張された道の駅駐車場

との共同事業で農業用水路への直接の排水は行っていない。今後も排水はしっかりと処理する。

Q 周辺に宅地や商業施設が増えているが、その排水の整備は町で対応しないといけないのではないか。

A 関係課と協議しながら進めていく。

牧場公園課

Q 小展望台外壁改修工事は、入札不調で随意契約となったが、入札は何者参加で辞退は何者か。

A 8者参加で4者辞退、1者棄権であった。

農林水産課

Q 森林・林業ビジョン策定の進捗状況について、森林の境界を知らない人への対策は。

A 森林管理計画の中に、私有林の管理についてのビジョンに盛り込んでいく。

民生教育常任委員会

健康課

新型コロナウイルス

Q 年1回の接種はこれからは。また、使用ワクチンは変わることもあるか。

A 毎年度1回である。また、ワクチンの種類は流行等で変わることもある。

Q 9月30日までに接種を受けた人の費用はどうなるのか。

A 定期の場合は自己負担額3500円だが、任意ということになり、全額自己負担となる。

こども教育課

Q 病児・病後児保育事業で設計業務について、入札が不調に終わったが、その後でその1社と随意契約をしたとのことだが、入札や契約上の問題はないのか。

A 問題ない。

新温泉町立認定こども園管理規則の一部改正

報告 国の規定が変わったのでそれに応じて町の規定を変えるものである。各学級の先生1人に対する園児数の上限を下げるものである。

Q 雇用は増えるのか。

A 来年度の入園申込数を把握し、その状況に応じて職員を配置する。

大庭認定こども園耐震補強・改修

Q 0歳児保育を準備すべきではないか。

A 要望があるのは承知している。今回は、現園児の安心安全のための耐震補強、改修である。現在の規模を守りながらやっていく。

Q 0歳児保育がないと子どもを産めないとか、若い人の流出を止めることができなと思う。新しく0歳児保育専門の保育所をつくることはどうか。

A 今回は、あくまで耐震補強、現在の規模での改修であることを理解してほしい。0歳児保育に関しては、町全体で対応していく。

Q 費用を圧縮するために工法でやりようがある。下げる努力をすべきであるが。

A 採光等で課題がある。必要なものは必要であるが、コストを下げる努力はしていく。

生涯教育課

B&G海洋センタープールの廃止

説明 令和2年度浜坂北小プールの建て替えについて、新温泉町議会に提案した際、B&Gプールが老朽化したときは建て替え等を行わないと説明した。現状としては、プール利用上安全性の確保が難しいため、令和6年度をもって廃止。当面は防災対策の観点からプールに水を張って防火水槽として活用を継続。



廃止予定のB & G海洋センターのプール

Q 今後はどうするのか。浜坂北小プールの利用はどうだったのか。

A 今年度は、浜坂北小学校のプールを地域に開放し、昨年と比べ9割の利用があった。これまでのB & Gプール同様に監視員を配置し、水泳教室などの事業を実施する。

Q リフレッシュのプールを利用すると値段が高いいし、交通手段が必要となる。利用しやすいよう考えるべきだが。

A 関係課で検討する。

上下水道課

広域漏水調査事業に係るデジタル田園都市国家構想

説明 本事業は衛星画像のAI解析により水道管の漏水疑いがあるエリアを判定し、早期に漏水管を特定、修繕することで適切な保全を図ることを目的とし、県内参加の25水道事業体が共同で実施する。

Q 121万円は確定した負担金か。

A 4月に協定、6月に業者と契約。管路延長に基き、25水道事業体で案分した。

Q メリットはあるか。

A スケールメリットがあり、コストを削減できる。AIにより漏水場所を絞ることができ、効率化を図ることがができる。

議会って

Q&A

Q 今、兵庫県では、知事と議会の関係が問われています。改めて町長と議会（議員）の関係を教えてください。

A 世間では、町長と議会（議員）の関係を「二元代表制」とよく言われます。これは、町長も議会を構成する議員も、直接、住民の皆さんの選挙で選ばれているからです。つまり、町長も議会もどちらも住民の代表だということです。

Q 町長と議会の役割を教えてください。

A 町長も議会も町民の福祉の向上を目的として活動するものです。目的は一緒ですが、役割は大きく違います。町長と議会の役割は、



簡単に言えば次のとおりです。

議会 条例や予算などを審議・決議するところです。

町長 議会で決まったことを実行する役場のトップのことです。

お金の使い方を決めて議会に提案する権利を持つのは町長だけです。

つまり、仕事をする人と仕事を監視する人に分かれています。

Q 町長と議会の関係はどのようなものが一番良いのですか。

A 町長と議会は互いに独立し、お互いの権限を認め、対等な立場と地位にあるというのを十分認識し、それぞれ責任を果たすことが大事です。

Q 議会の使命とは何ですか。

A 大きく分けて二つあります。一つ目は、町の具体的な施策を最終的に決定すること。

二つ目は、町の行財政の運営や事務処理などが適法・適性に、しかも公平・効率的に、そして民主的に行われているかどうかを監視し批判すること。

Q 兵庫県では、議会が知事の不信任案を可決し、知事の選挙が行われますが、町の議会も町長の不信任案を提出することができるのですか。

A 提出することは可能ですが、提出するには、「町長に対して町の行政を任せることができない。」という大きな理由が必要です。

※ 議会だより第70号に「不信任案」について記載しております。

Q 議会には町長を不信任する制度があるのですが、町長は議会を解散させたり、議員を解職する制度はあるのですか。

市区町村	処分年月日
北海道本別町	R3.4.27
宮崎県三股町	R3.5.13
岡山県鏡野町	R3.10.5

近年の懲罰処分（除名）の例

市区町村	不信任案上程年月日	議決後の対応
東京都あきる野市	R4.6.16	議会解散
富山県舟橋市	R4.9.16	議会解散
兵庫県太子町	R4.9.26	失職

近年の不信任案（可決）の例

A 「町長にその権限はありません。ただし、不信任案が可決されたときだけ、議会を解散させる権利を有しています。」

町長の解職、議会の解散、議員の解職などは、町民の直接請求権の中で認められています。

議会が機能しないとか、町民の意見を改めて聞く必要がある場合など、議会が、自分自身で解散を決めることができます。

議会において、議会の権威を保持し、公正にして能率的な議会運営を行うため、議員に対する懲罰の対

象となる事項が決められています。この懲罰の一番重い処分の「除名」の時、議員の身分を失わせることになります。この懲罰は、議会において、決定されます。

Q 「直接請求権」とはどのようなものですか。

A 議会や町長の方針に不満があれば、町民は署名を集め、議会の解散を請求したり、町長の不信任を突きつけたりすることが出来ます。住民が町長や議員の解職を求めることを「リコール」といい、住民が意思を表明する権利を「直接請求権」といいます。

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人二分の一ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項
12	河越 忠志 議員 ①浜坂病院の運営【掲載】 ②浜坂地域の認定こども園整備 ③(株)温泉町夢公社のあり方
12	竹内 敬一郎 議員 ①人権啓発の推進【掲載】
13	中井 次郎 議員 ①下水道料金【掲載】 ②鳥獣処理施設の運営 ③熱中症対策
13	中村 茂 議員 ①DX社会に対応した交通政策【掲載】 ②地域運営組織の設立状況【掲載】
14	米田 雅代 議員 ①下水道使用料統一【掲載】 ②認定こども園【掲載】 ③町長の責務【掲載】
14	宮本 泰男 議員 ①沿岸漁業の振興【掲載】 ②土砂災害の減災防災【掲載】

頁	質問者及び質問事項
15	森田 善幸 議員 ①浜坂駅前周辺の活性化【掲載】 ②人口減少問題 ③クマの脅威
15	岡坂 遼太 議員 ①ライドシェア導入 ②教育の課題と対応【掲載】
16	澤田 俊之 議員 ①合併20年を迎えるにあたって【掲載】 ②大庭認定こども園耐震等工事関係【掲載】
16	西村 龍平 議員 ①人口減対策の重要なキーワードの1つは「外国人」：外国人労働者の確保とインバウンドによる交流人口の拡大が急務【掲載】 ②海水浴場の利用に関する条例の制定 ③ふるさと納税の当初目標である5億円達成へのシナリオ
17	重本 静男 議員 ①鳥獣害対策【掲載】 ②放課後児童クラブ【掲載】 ③道の駅整備事業【掲載】
17	浜田 直子 議員 ①子育てにおける、図書、体験等の充実【掲載】 ②介護の充実、支援【掲載】 ③リフレッシュパーク湯村の改善策【掲載】 ④地元業者・若者の住みやすい企業育成・応援体制【掲載】

※質問は通告受け付け順に掲載しています。
【掲載】は記事にした質問事項です。

病児・病後児保育事業は町長の仕事だ

町長 実務者・現場レベルの考えを基本に進める



河越 忠志 議員



地域医療を担う公立浜坂病院

公立浜坂病院を真に住民から信頼される病院にするためには

問 町長は、公立浜坂病院の管理者としてどのように運営に関わるうとしているか。

町長 平成30年には県の職員を副町長として招聘をし、浜坂病院の経営の見直しに取り組んだ。

問 浜坂病院のスタッフ

フ等どのようなコミュニケーションを取っているか。

町長 月に、最低1回は幹部会議を開いて、その場で、病院の経営内容、課題、トラブル等について議論している。

問 浜坂病院の進む方向としての判断基準をどこに置いているか。

町長 持続的な運営ができ、町民の皆さんが安心して利用できることを基本に考えている。

問 公立病院は、利潤等を考えない部分までの取組みが求められていると思うが、その点は、どうか。

町長 住民が安心して生活できる、その拠点としての役割が重要だと思う。

問 何故、浜坂病院の最高責任者として病児・病後児保育事業に、関わらなかったのか。

町長 実務者レベル、現場レベルの考えを基本に事業推進する。

グループホームの建築予定候補地の案はあるのか

町長 ある事業者で予定されている



竹内 敬一郎 議員



すべての人が人権問題を理解し、解決に向けた取り組みが必要

人権啓発の推進

問 令和5年度に第4回目の人権に関する意識調査が行われた。人権や差別問題に関心がない町民は4割強となっているが、結果をどう思うか。

町長 人権啓発推進条例を制定した町として、残念に感じている。人権学習をはじめ、様々な取組みをさらに強化していく。

問 障がいのある人が、暮らしやすいまちづく

りの課題として、多目的集施設にエレベーターは必要だとの意見が多くある。検討されているのか。

町長 設置に向けて考えていく。

問 障がいのある人だけで暮らせる施設（ケアホーム・グループホーム）の設置の取組みは。

町長 今年度、グループホームを予定される事業者に対して補助制度を作っている。

問 本町はインターネットによる人権侵害行為が起こっていないか。

町長 人権推進室において令和3年より週1回程度インターネットのモニタリングを実施している。人権侵害等の書込みは確認していない。

問 人権の町としてパートナーシップ制度の導入をなぜ実施しないのか。

町長 前向きに取り組む、早期導入を実施していく。

旧町下水道料金に差がある。その原因は何か

町長 建設に費やした借金返済額。人権侵害や差別ではない



中井 次郎 議員



新温泉町井土にある下水処理場

問 下水道使用料について、新聞折込があり、手紙もきた。旧温泉町・旧浜坂町の下水道使用料には差がある。合併協では5年を目途に、使用料を統一するとなっている。統一できなかった原因は何か。

町長 そのような約束はあったが、浜坂地域では井戸水の利用が多かった。接続率も低く、

問 「こちら町長室」(町広報)では使用料の差は下水道を建設時の2町の財政力に影響されると解釈してよいか。

町長 建設時の借金が影響している。

問 いただいた手紙や、折込チラシでは旧町の下水道料金の差は、差別や人権侵害に当たると述べている。その点はどうか。

町長 使用料は建設時の借金、その返済などをするため、条例で決められたことだ。人権や差別などには関係ない。

高齢者の移動手段等、新しい交通システムを

町長 新温泉町に合った交通体系は検討課題だ



中村 茂 議員



学校再編による新しい役割の発揮は『地域運営組織の活動拠点』、企業誘致の可能性もあるのでは

問 多くの地域で高齢者の移動手段等、AI(人工知能)を活用したオンデマンド交通(バス・乗合タクシー)やライドシェアが増加している。本町も導入を検討すべきではないか。

町長 乗合タクシーは現状から困難、デマンドバスも観光や町外利用者への対応が難しいと判断している。引き続き検討課題である。

問 奥八田地域づくり協議会の「買物支援サービス」はライドシェア

町長 組織づくりには、リーダーシップを取れる方が大きな鍵を握っている。熊谷地域では世代交代もあるようで、新たな働きかけをしたい。

地域運営組織は地域の元気づくり

である。交通政策の面からどのように評価しているのか。

町長 地域課題を自ら積極的に取り組む先進的な取組みとして高く評価している。赤字運営と聞いており何らかの支援方法を検討したい。

任期まで残りの一年、抱負を問う

町長 一番大きな宿題は浜坂認定こども園だ



米田 雅代 議員



現在地での整備が一番大きな宿題とのこと

問 これからの任期までの残り一年は総まとめとなるが、抱負を問う。

町長 一番大きな宿題は浜坂認定こども園だ。

問 合併20周年まで残り1年となるが、抱負を問う。

町長 町に、より元気になるような方向性を出し出す。

認定こども園

問 浜坂認定こども園の整備について、「自治

区の総意」また、「住民の総意」によるとのことだが、総意の意味するものは何か。

町長 当時の自治区会長から口頭で要望された。それから、住民の総意というのは選挙の結果ということだ。

下水道料金統一

問 兵庫県下41市町で合併前の旧町単位で料金体系が異なる事例は本町のみである。見解を問う。

町長 合併の制度の中で今の料金制度が継続されている。

問 浜坂地域の自治区や多くの集落の区長から料金の早期統一を求める要望書が出ているとのことだが、町民負担の公平性とはどのように考えているか。

町長 料金だけをもって単純な使用料の公平という前に今の料金制度背景を考えるべきだ。

沿岸漁業振興に積極的支援を望む

町長 稚貝、稚魚放流事業は大幅アップしている



宮本 泰男 議員



アワビ、サザエいっぱいセリ市場

ションである。これまでに以上支援の必要がある。稚貝、稚魚放流事業は補助率を三分の一から二分の一に大幅アップした。漁港整備、研修事業等は県と連携して支援していく。

土砂災害、防災、減災

問 本町は「急傾斜地崩壊危険区域」指定区域が48か所あり、土砂災害発生が危惧される。「危険区域」の住民と防災、減災協議会開催、避難訓練等の実施、裏山の安全点検、工事個所の点検等、防災、減災対策をすべきである。

町長 「危険区域」については県の協力を得てパトロールし、地域住民に、崖崩れ等の危険性について周知徹底と防災意識の高揚に努める。

問 漁業は新温泉町の重要基幹産業である。沿岸漁業は、家族経営、小資本、高齢者でも従事できる。町の振興事業、漁船保険、漁獲共済保険料の助成、稚貝、稚魚放流事業等の拡充、さらに町営漁港の整備（津波対策含む）、若者の新規着業、U、I、Jターン対策、新漁法、新技術研修事業の助成等、支援すべきである。

町長 漁業は町において経済的に大きなポジ

浜坂駅前周辺整備のビジョンは

町長 駅を降りるとその町の特徴がわかるように



森田 善幸 議員



検討中の駅前整備 どんな図面が描かれるのか

問 駅前整備の進捗状況は。

町長 電線地中化、トイレの見直し等を中心に駅前のあり方を庁舎内で検討中。案がまとまれば、地域や商工会関係者の意見を聴取したい。

問 スケジュールが遅れている原因は。

町長 JRとトイレの交渉等、関係団体との話し合いが煮詰まっていない。できるだけ計画どおりに推進するように

議論を詰めている。

問 駐車場問題の協議の進捗は。

町長 まちづくり懇談会等で、多くの意見をいただいた。道路拡幅を契機に、利便性が図れるようにしていく。

問 民間の方と浜坂高校生有志で駅前の空き店舗の活用プロジェクトが進んでいるが、所感を問う。

教育長 教育課程の中では大変難しい起業者精神教育の実践の場を与えていただいたこと。コミュニケーション・スクールとしての活動の幅を広げていただいたこと。浜坂高校の魅力アップに寄与していただいたことの3点でこのプロジェクトは大きな意義があると思う。

問 浜坂駅前周辺整備のビジョンを問う。

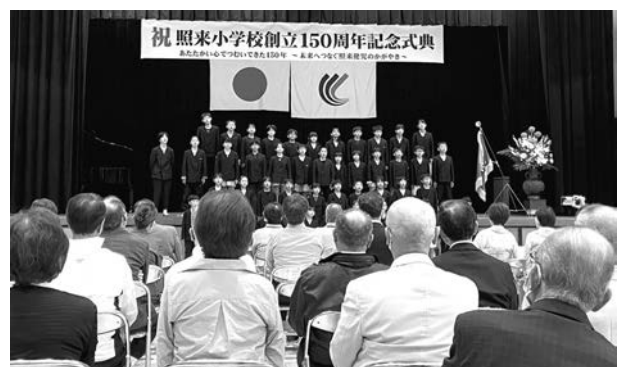
町長 駅を降りるとその町の特徴が分かるような、そういうあり方が理想と考える。

学校適正規模への見解は

教育長 令和8年度にはある程度の方角を示す



岡坂 遼太 議員



今年6月に行われた照来小学校創立150周年記念式典

少子化への対応

問 小学校再編成や適正規模への見解を求め

教育長 適正規模の方

向を令和8年度には示す計画となっている。

教育委員会では令和11年までの児童・生徒数の推移を示し、意見聴

取している。令和7年

度には、検討会を設け、

地域や保護者の声を聞

く。適切に検討したい。

問 昨年度に町が実施した教育アンケートは、

教育長 校区ごとの意見を分析ができない調査内容であった。校区ごとに声を聞くべきではないか。

教育長 そのような形で進めていきたい。

問 複式学級についてはどのような認識か。

教育長 既に複式学級のある学校がある。教育効果や地域、保護者の声に十分に配慮しながら進めたい。

問 学校からの情報提供や欠席連絡のデジタル化を望む保護者の声

教育長 学校からの情報提供や欠席連絡のデジタル化を望む保護者の声

教育長 PDF化してマチコミで配布するような方法を、紙と併用で進めていきたい。

こども教育課長 町内の一部学校で欠席連絡のデジタル化をしている。先行事例を十分参考にして情報共有を図っているところである。

町全体の認定こども園の将来像は

町長 教育委員会がきちりとしたものを持っている



澤田 俊之 議員



4億2千万円

問 大庭認定こども園の耐震改修は、低額で行うべきではないか。4億2千万円をかけるのであれば、新築したほうが良いのではないか。

町長 今回の計画は耐震化であり、資材等の高騰でこの金額を計上している。

問 子どもの数が減ったとき、財政に余裕がなければ、浜坂地域の子供たちは、大庭認定こども園だけで対応することになるのではないか。



4億2千万円の改修。未来につながるものは何か

町長 将来の予測は難しい。

問 財政基盤がしつかりしていなければ、良い教育はできないのではないか。

町長 財政より大事なものは、将来を担う子供たちの環境を支援することである。

公平性

問 ライフラインは、みんなで支えあい維持していくものである。新温泉町となり、来年、20周年を迎える。浜坂地域の区長から、下水道料金統一の要望書が出ている。行政に対する信頼がないからではないか。

町長 議会の議決を得て制定している。計画的に統一に向けて動いている。

問 災害情報は、最低限各家庭等に提供できるようにすべきではないか。

町長 その方向でやっていく。

人口減対策として外国人労働者確保の重要性は

町長 町が率先しての動きは考えていない



西村 龍平 議員



人口減対策の1つは外国人労働者

問 人口減対策として、他自治体は外国人労働者に着目している。外国人労働者の確保は、事業者の問題と考えているか。

町長 人口減対策と労働者の確保は別問題である。各事業者が人手不足対応で外国人労働者を採用しており、町が率先しての動きは考えていない。

問 インバウンドによる交流人口の拡大は人口減対策にメリットがあると思う。城崎温泉

は今年8万人近くまで伸びる。連携への働きかけが必要ではないか。我が町の最終の目標値はあるか。

町長 城崎との連携の働きかけはできていない。令和8年度、外国人宿泊者を3600人の目標としているが、最終目標は考えてない。

JR廃線問題

問 JR西日本の今期決算予測が1555億円であり、赤字路線を黒字路線がカバーできている。JRへの交渉は但馬の自治体だけではなく、大阪・明石間のドル箱路線を保有する兵庫県が代表して交渉すべきだ。町は毅然とした姿勢が必要だかどうか。

町長 JR西日本は巨大な会社であり、神戸支社長に直接話したが、聞いておくというスタンスで論議はかみ合わず、3市2町だけでは厳しいと感じる。

獣害による被害農家へ町独自の救済措置は

町長 各種農業共済で対応し独自の措置は考えてない



重本 静男 議員



鳥獣害対策

問 日本各地で、ツキノワグマによる人身被害が急増している。本町の人身事故防止策を問う。

町長 ひょうご防犯ネットや町のラインで情報提供。屋外放送や町公報で、注意喚起をしている。

問 多大な被害農家へ、町独自の救済措置が必要ではないか。

町長 県の農業共済、果樹共済などで対応しており、町独自の救済は考えていない。

問 浜坂地域に設置のストックポイントの整



クマによる農作物の被害状況

備事業の進捗状況は。

町長 5月に地元説明会を行い、7月に設計監理業務の発注をしている。稼働は、令和7年を予定している。

放課後児童クラブ

問 浜坂北児童クラブで、今年の夏休みに定員30人を超える応募があったようだが、選定方法を問う。

こども教育課長 基本的に、学年の大きい子から利用を控えていただいている現状である。

道の駅整備事業

問 繁忙期の駐車場不足を解消するための拡張工事が計画されているが、今後の予定を問う。

町長 土地の売買契約が締結され、登記手続き完了後、設計、工事に着手し今年度中に事業を完了したい。

問 高架下に遊具の設置はできないか。
町長 検討課題である。

図書、体験の充実の応援体制は

町長 改めて力を入れる



浜田 直子 議員



児童の集う図書室

問 加藤文太郎図書館を中心に充実しているが、今後の方針は。

町長 学校、こども園、子育て支援センター、図書館ボランティアと連携していく。地域小学生などからの意見を吸い上げ反映する。

問 地域の恩恵を自然体験、職場体験ではどうか。

町長 文化財、名勝、天然記念物など豊富。町だけが率先ではなく、議員も先頭に立ち協働で進めてはどうか。

介護

問 今があるのは、先人・高齢者のおかげ、益々幸せで安心に過ごすには。

町長 健康寿命を維持するための支援を行う。

問 すこやかクラブ、サービス付高齢者住宅についてはどうか。

町長 更に対応していく。事業者を支援する。

リフレッシュ館の改善策

問 長時間遊べ、健康維持に必要な施設である。国保や、生涯教育からの支援は。

町長 もう少し状況を見て、検討する。

地元業者・若者

問 地域の事業は、地域が応援するべき。

町長 商工会も頑張っている。町の力だけでは難しい。

問 地産地消の推進は。

町長 漁協、農家と協力体制を築きつつある。



挿し絵 清水伸子氏

ちいきとつながって たのしくフラダンス

ブルメリア&メアリー

代表 おおくさ 大 艸 とし子

活動内容は…子どもフラダンスグループです。毎週金曜日に、ユートピア浜坂で練習をしています。練習の成果を町のイベントや福祉施設で披露しています。

きっかけ・いつから…三尾のフラダンスサークルがきっかけでしたが、大人は続かず…。それを見ていた小学生の方が関心を示し、9年目になりました。

メンバーは…6年生で卒業するので、毎年若返ります。現在は、大庭認定こども園、浜坂認定こども園、明星認定こども園、ゆめっこ認定こども園、浜坂認定こども園、浜坂東小学校、浜坂南小学校、浜坂北小学校から合わせて19名が参加しています。メアリーは園児が中心で、ブルメリアは小学生が中心のチームです。

会のセールスポイントは…校区を越えて新温泉町の子どもたちがつながりを持ち、新温泉



メアリー



ブルメリア

町のみなさんに笑顔をお届けできるというな〇と考えています。

今後の抱負は…地域のみなさんと関わりを持って活動する体験の中で、新温泉町のすばらしさを感じ、新温泉町を愛する人に育ってほしいと思います。

編集後記

9月定例会では、令和9年度の予算の執行状況についての決算審査が行われました。各議員からは、将来を見据えた指摘や、各事業の方向性の確認がありました。しかしながら、将来を見越した具体的アクション計画と将来ビジョンの策定は不十分と感じました。令和5年度決算は承認いたしました。今回の審議においての成果が、次年度の予算編成に反映されましよう、期待を持って見守りたいと思います。

(西村龍平)

次回定例会は
12月です。
傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会	
委員長	岡坂遼太
副委員長	森田善幸
委員	西村龍平
	澤田俊之代
	米田雅代
	浜田直子

発行者 議長 池田宜広

しんおんせん議会だよりは、四季折々の色で印刷しており、今回は稲穂の黄金色です。

しんおんせん議会だより(第76号 令和6年11月14日) 18